

特定行為研修修了者交流会を開催しました



この交流会は特定行為研修普及事業(静岡県委託事業)として行っています。

「ひとりで考えず、みんなで考えよう」をテーマに緊張しないで、本音トークで交流できるように先輩たちの工夫があちらこちらに散りばめられていました

特定行為研修修了者交流会を牽引してくれています有隣厚生

会富士病院の林さんの講話では、「特定看護師は地域包括ケアの最後のピース」と題して「育成・共有・価値の3つの問いが未来をつくる」というお話し 特定看護師がいることによる価値・どう変わったのか、この問いを曖昧にしてははいけない。(成果の可視化:見えない価値を見えるようにする)



次に登壇されたのは、静岡市立静岡病院の海老名さんです。海老名さんからは特定看護師が地域で連携して知識と技術を強化するためのネットワークを構築した素晴らしい実践報告がありました。それぞれの看護部長たちの支えがあってこそこのネットワーク「悩みは自分や自施設だけのものではない」と言い切っていて、なんと頼もしい!みんなの気持ちが動きました。

一人で抱え込まず、そして、自分の施設だけにとどまらず、仲間とつながりましょう。今日はそんな体験ができましたね。



* 写真は許可を得て掲載しています。